



唐沢山…藤原秀郷公の居城趾で、深い歴史を持つ山

平成30年3月1日

## 第19号

発行 佐野市町長連合会  
編集 会報編集部会

## 野上物産市を開催! ～地域の活性化を目指して～ (野上)

野上地区では、旧野上小学校跡地の有効活用や地域の活性化について検討するため、地区内の町長を中心に地域住民と『野上を考える会』を発足しました。分野ごとに農林部会、観光部会、福祉部会を立ち上げ、その中の農林部会が中心となり、旧野上小学校跡地を利用した地域活性化事業の一つとして11月19日(日)旧野上小学校跡地において野上物産市開催されました。

### ◆野上物産市の内容

会場では地元で採れた農作物の販売や、来場者が楽しめるような各種イベント・模擬店等を実施しました。

野上は中山間地域で農業が盛んであり、地元のきれいな水や特性を生かして栽培された野菜や穀物は非常に人気があり、多くの方が購入していました。中には「青パパイヤ」など獣害被害に強い野菜も販売されており、今後の地域活性化のヒントになるのではないかでしょうか。

### ◆開催にあたり

野上地区では、旧野上小学校跡地の有効活用や地域の活性化について検討するため、地区内の町長を中心にして、地域住民と『野上を考える会』を発足しました。分野ごとに農林部会、観光部会、福祉部会を立ち上げ、その中の農林部会が中心となり、旧野上小学校跡地を利用した地域活性化事業の一つとして11月19日(日)旧野上小学校跡地において野上物産市開催されました。

また、地域住民の協力により、もつ煮や焼きそばなどの飲食コーナーも賑わっており、来場された方はステージで披露される様々な催しを観ながら美味しいものを食べ、山間部でのゆっくりとした有意義な時間を過ごしていました。

### ◆活動の効果

イベント当日は、市内を中心にもう男女多くの方に来場いただいて、若男女多くの方に来場いただいて、野上地区的特性・特産品を多くの人に知つていただくことが出来ました。また、本イベントの主催として携わっていた地元の協力者の皆様に、地域でまとまり地域を盛り上げていくことの大切さ・面白さが伝わったのではないかでしょうか。

### ◆野上物産市を終えて 下作原町会 横塚洋一町長談

関係各位の協力のもと、無事に終了することができました。また、行政にも特に地域担当職員の皆様には、企画段階よりご協力いただきました。改めて感謝いたします。多くの地域住民で今後野上地区を活性化する思いが共有できたとともに、多くの来場者の方に野上をPRできたのではないかと思っています。今後も様々な企画を考え、野上地区を盛り上げていきたいと考えています。

## 安全安心な暮らしをめざして

10月18日（水）福島県環境創造センターにおいて管外視察研修を実施しました。

### 管外視察研修の目的

3・11の原発事故からの復旧・復興、そして、これからの中未来に向けて、放射線や再生可能エネルギーについて正しく学ぶことにより、原子力に依存しない、安全で安心な暮らしをめざすための第一歩として、本研修会を実施しました。

### 研修内容

福島第一原子力発電所の事故以降、放射線に関する様々な情報が世の中にあふれましたが、良く知らないことも多かったのではないか。改め



た。出来まし

日本国内のみならず、世界的にも原子力や火力発電から、太陽光や水力発電等の再生可能エネルギーを軸とした社会の実現が進められています。私たち一人ひとりが出来ること、みんなで出来ることを考えながら、次の世代が安心して暮らしていく社会を創っていくたいのです。

### 町長同士の意見交換

当連合会管外視察研修においては、バス内での盛んな意見交換が行われます。町長同士が地域の垣根を越えて情報交換する機会は少ないものです。ゴミステーションや清掃活動、介護予防・日常生活支援総合事業など、地域の身近な課題について、各地域の実情や取組を学ぶのに絶好の機会となりました。

### 研修内容

なぜ今地域づくりなのか。それは、多様化・深刻化する地域の課題が山積しているからです。例えば少子高齢化による人口急減や一人暮らし世帯の増加、災害・介護（予防）・子育て等、地域差はありますが、そ

れぞの地域で抱える課題は多く、これらの解決は決して行政だけではできないものです。

### 研修を終えて

これまでの町会活動を変化させることは大きな労力が必要であり大変なことかもしれません。しかしながら、今後、自分の住む地域を住みやすく更に発展させていくには、地域

## 市民協働による地域づくり

### 研修にあたって

11月9日、町長や町会役員などを対象に町長研修会を実施しました。講師に高崎経済大学地域政策学部の櫻井常矢氏を迎えて、「実

践に学ぶ」これからの地域づくりへのヒント」と題し、市民協働による地域づくりについて学びました。



そこで、自分たちの地域のくらしを支えるためには、町会と行政が連携・協働し課題解決に取り組む必要があります。

り組む必要があります。地域に求められるものの一つに、安全安心の地域づくりつまり、地域でのセーフティネット構築は必須であると思います。そのためには、防災防犯・子どもの見守り・高齢者の見守り等様々な面で行政と地域が課題を共有し取り組むことが重要です。

また、活力ある地域組織のかたちを創るには、地域に本当に必要なことを様々な人々で議論し、取り組んでいくことが必要です。これまで町会活動に携わらなかつた人々が、得意分野を活かし関わることにより坦い手不足の解消につながり、課題解決・地域活性化の新しい切り口が見つかるかもしません。

### 研修を終えて

私たち一人ひとりに出来ることは小さな事かもしません。また、このままの町会活動を変化させることは大きな労力が必要であり大変なことかもしれません。しかしながら、今後、自分の住む地域を住みやすく更に発展させていくには、地域住民で力を合わせ、小さな積み重ねを続けていくことが必要なのでないでしょうか。

【佐野市町会長連合会 永年在職町会長15年表彰】

(敬称略)



波爾的書

## 【佐野市町会長連合会

永年在職町会長10年表彰【

永瀬昌男 赤坂町  
小早川房平 米山南町

永年在職町会長5年表彰】

永瀬	上岡宣幸	室岡宣幸	川田萬制	根岸萬制
昌男	良雄	若松町	守吉	東吉水
房平	明	(第一)協和		
赤坂町	山越	浅沼町		
米山南町				

永年在職町会役員表彰

若宮下町町会田中正美町会長が、春の叙勲において「旭日単光章」を受章されました。



# 栃木県自治会連合会会長研修大会



**町会は地域において様々な役割を担っています！**

町会は住民の皆さんと共に災害時の対応  
隣り近所との絆づくり、いざという時の相  
互扶助など地域のために  
様々な活動を行っている  
団体です。町会活動に対  
してより深いご理解をい  
ただき、積極的に参加し  
てください。



- 安全・安心な暮らしを守る活動** 町会では子どもたちの安全を守るための自主防犯パトロールや自主防災の組織をつくっています。また、防犯灯の維持管理や交通安全活動も町会が行っています。
  - 親睦交流活動** 円滑な地域社会を進めるうえで、地域の人々が交流することは非常に重要です。町会では、お祭りや子ども会、敬老会への協力を通して子どもから高齢者までの暮らしを後押ししています。
  - 環境美化活動** 地域で快適に暮らせるよう、清掃活動を通しての環境美化活動を行っています。ごみ集積所の管理運営も町会が行っています。
  - 地域情報活動** 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの生活に必要な情報を回観板や広報の配布を通して、提供しています。災害時などの緊急時においても有効的な手段であると言われています。
  - 地域福祉活動** 民生委員・児童委員を初め、福祉協力員、町会役員が協働によるまちづくりを推進するため、隣保活動を中心に相互扶助を通し地域福祉の向上を目指した活動を行っています。

# 市民活動モデル町会の取り組み紹介 若宮上町町会、関川町町会

佐野市では、住民主体のより良い地域をつくるために、住民が主体となって取り組む元気な地域活動の募集・選考を行い、採択となった町会を「モデル町会」として、助成金の交付、活動のPRを行うなど支援をしています。詳しくは、佐野市市民活動促進課までお問い合わせください。TEL(20-3812)



## 若宮上町町会

### 塚田芳夫町長談

本会は、少子高齢化率が佐野市平均を上回っており、町内に元気を甦らせることが重要だと考えています。「こころのバトン運動」によって、お互いに協力し支えあう町会を創るために活動しています。

11月12日(日)には「若宮上町ふれあい祭り」を行いました。このお祭りは、従来の町内敬老会と同じく若宮祭を一体化し、幅広い世代に参加していただけるよう工夫したものです。

当日は、77歳以上の方とハーフ成人式(10歳)を迎えた児童を合同でお祝いする他、bingo大会を行うなど多くの方が交流しながら楽しんでいました。

他にも、「若宮上町だより」の発行や防災訓練の実施、各班単位の交流会などを実施し、町内の親睦を図っています。

当町会は、  
市の南部にあ

当町会は、  
市の南東部に

**若宮上町町会**  
「こころのバトン  
運動事業」



### 若宮上町



## 関川町町会

### 中山文雄町長談

異常気象により、土日になると雨天の日が多く、スケジュール調整に苦慮しました。大雨や台風による落葉や倒木などにより、参道や遊歩道が荒れ果て苦労しましたが、この活動を通して会員の絆が深まり、町会の活性化につながったと思います。

主な活動は、里山(3ha)及び関川水路の篠竹や雑草等の除去と環境保全を行っています。町会の役員を中心に約20名の賛同者と、毎月の活動を実施しています。5月から11月まで合計7回の活動を実施しました。11月26日の秋季例祭に併せて行われた里山林の清掃活動では約120人の参加協力がありました。活動を通して感じたことは日頃の管理の重要性です。継続的な活動こそが、町会内の自然環境を保全し、子供から大人まで安全・安心に暮らせる地域づくりに必要なことであると思います。

当町会は、位置する415世帯で構成される町会です。本年度より「関川水路及び里山の保全」を目的として、「モデル町会」として活動を行っています。

当町会は、  
市の南東部に

**関川町町会**  
「関川水路の環境保全と  
里山の保全事業」



### 関川町